

# 防災・減災や事前復興の視点を組み込んだ都市づくり

- 地震や水害などの様々な災害リスクを想定し、防災・減災対策や業務継続計画(BCP)に対応した都市づくりを進めることが重要である。
- 防災性の向上に合わせた商業機能の導入などにより、地域の付加価値を向上させた再開発の取組も見られる。

災害に強いBCP対応の業務拠点

地域の防災性向上に合わせた拠点形成の例(墨田区)



日本橋室町地区  
 免震構造やバックアップ電源設備、断水・停電時にもトイレの利用が可能な井水設備の採用や、訓練の実施等により、企業の業務継続性を確保している。



出典：日本橋の防災力向上に貢献(平成26年9月/三井不動産株式会社)

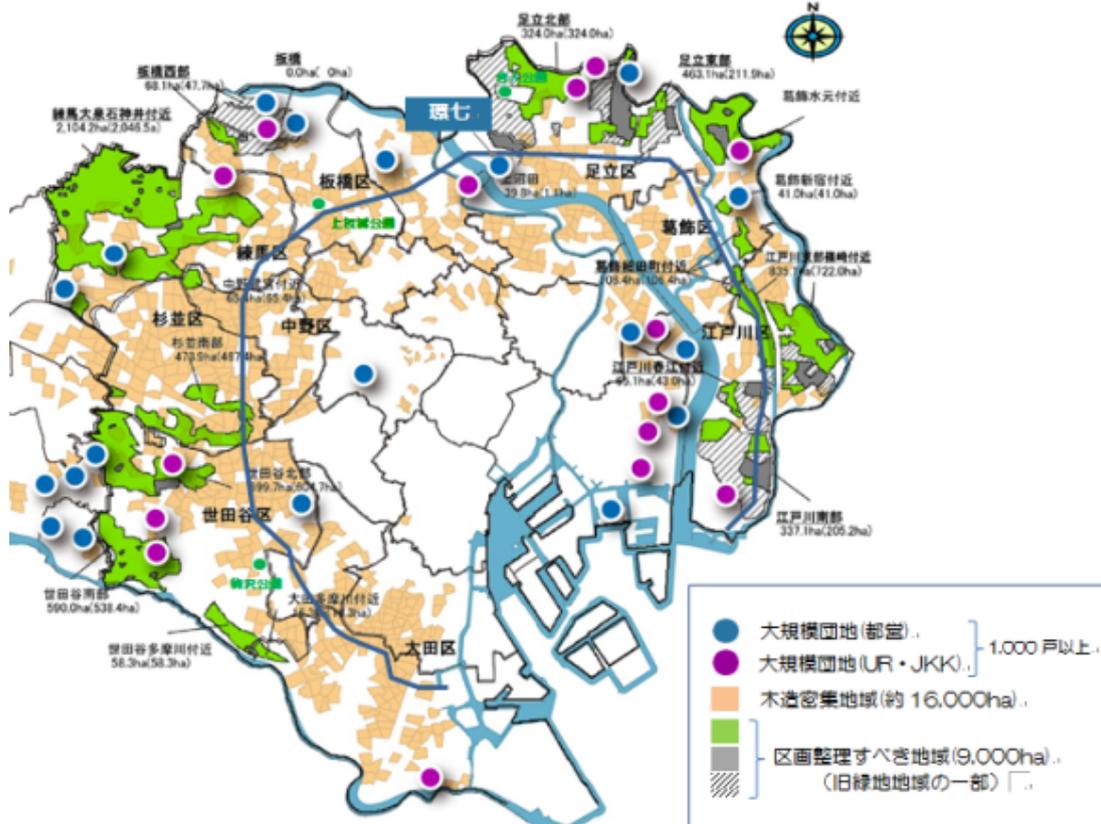


出典：イーストコア曳舟(曳舟駅前地区第一種市街地再開発事業)(UR都市機構)

## 長期的な災害対策の取組(木造住宅密集地域)

- 周辺区部においては、災害リスクの高い木造住宅密集地域が広がっている。また、この地域には大規模公的賃貸住宅も多く分布している。

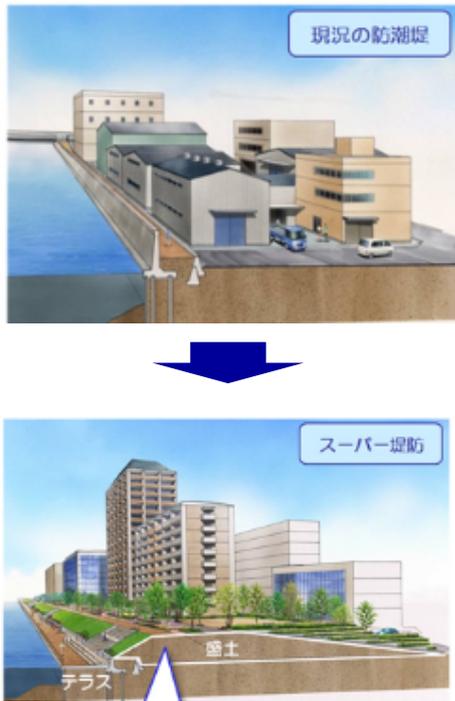
木造住宅密集地域等と大規模公的賃貸住宅



# 長期的な災害対策の取組 (大規模水害対策)

- ・ 東部低地帯では、大規模水害に備えたスーパー堤防の整備など、河川施設の耐震・耐水対策の取組も始められている。
- ・ 東京港では、高潮等に備えた海岸保全施設整備計画を策定し、施設の整備を進めている。

スーパー堤防断面図



出典：東京都建設局HP

東部低地帯の耐震・耐水対策実施箇所図



出典：東部低地帯の河川施設整備計画/東京都

東京港海岸保全施設整備計画 整備計画図

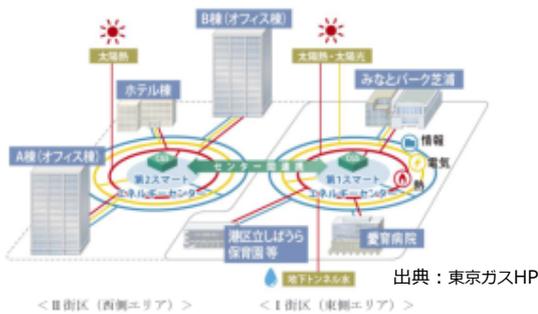


出典：東京都資料

# CO<sub>2</sub>フリー社会と循環型都市の実現に向けた都市づくり

- ・ 高密度な活動が想定される拠点の形成に当たっては、地域でエネルギーを管理して「拠点全体としての環境負荷低減」を図ることが不可欠である。
- ・ ロンドンでは、地域でエネルギーを管理する、「エネルギーネットワーク」を形成する取組が進められている。
- ・ 都市における資源・エネルギーの効率的な利用を促進し、資源効率やエネルギー効率の高い循環型都市づくりを進めていくことが重要である。

スマートエネルギーネットワークのイメージ(港区)



出典：東京ガスHP

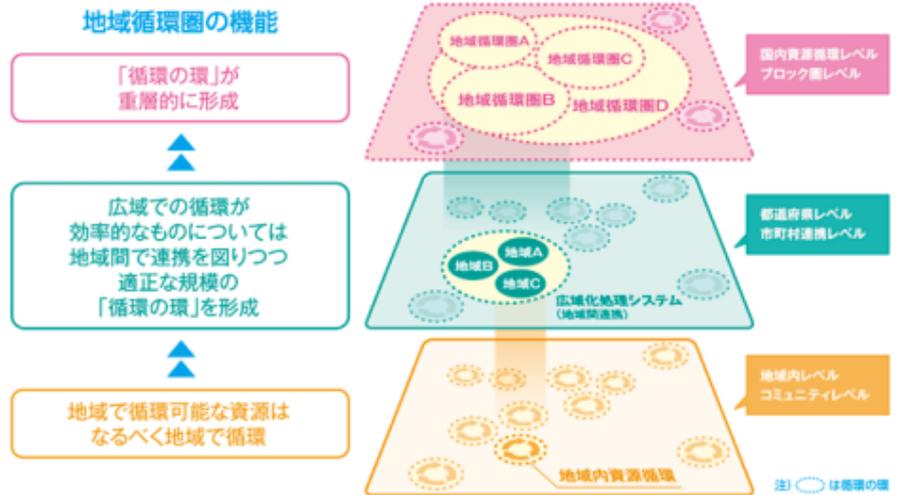
ロンドンオリンピックサイト周辺における  
エネルギーネットワーク (イギリス)



オリンピックサイトに2つのエネルギーセンターを整備し、  
熱損失の少ない18kmのネットワークを整備

出典：第4回都市づくり調査特別委員会 村木委員資料(平成28年1月)

地域循環圏のイメージ



出典：環境省HP

# ライフスタイルに対応する多様な空間

(4) ライフスタイルに応じて選択できる場の提供  
(ライフスタイルに対応する多様な空間)(本編p.25~26)

- ・ 緑と水の潤いを取り入れた良質な住環境の形成や、様々なライフスタイルに対応できる住宅の整備が重要である。
- ・ 柔軟な働き方に対応するため、二地域居住やサテライトオフィスの普及に向けた取組も重要である。

緑と水の潤いが調和する良好な住環境  
(江東区 木場三好団地)



集合住宅・戸建住宅・高齢者住宅・学生寮・  
保育園など、多世代が入居する住宅団地  
(スウェーデン マルメ)

出典：東京都資料

二地域居住の受け入れ環境整備事業(山梨県)



出典：国土交通省HP

二地域居住の農村側居住先として古民家を希望する都市住民を対象とし、古民家の手入れ・改修をワークショップで体験し、地域住民と交流するほか、空き家物件とのマッチングを行う事業が、山梨県のNPO法人によって行われている。

古民家をリノベーションしたサテライトオフィス(徳島県 美波町)



出典：総務省HP

クラウドサービス会社『鈴木商店』のサテライトオフィス。常駐する社員は全員が美波町に移住した。古民家をリノベーションしたオフィスは、週末はカフェとして一部を開放している。



二世帯近居に関するCM

出典：東京都資料



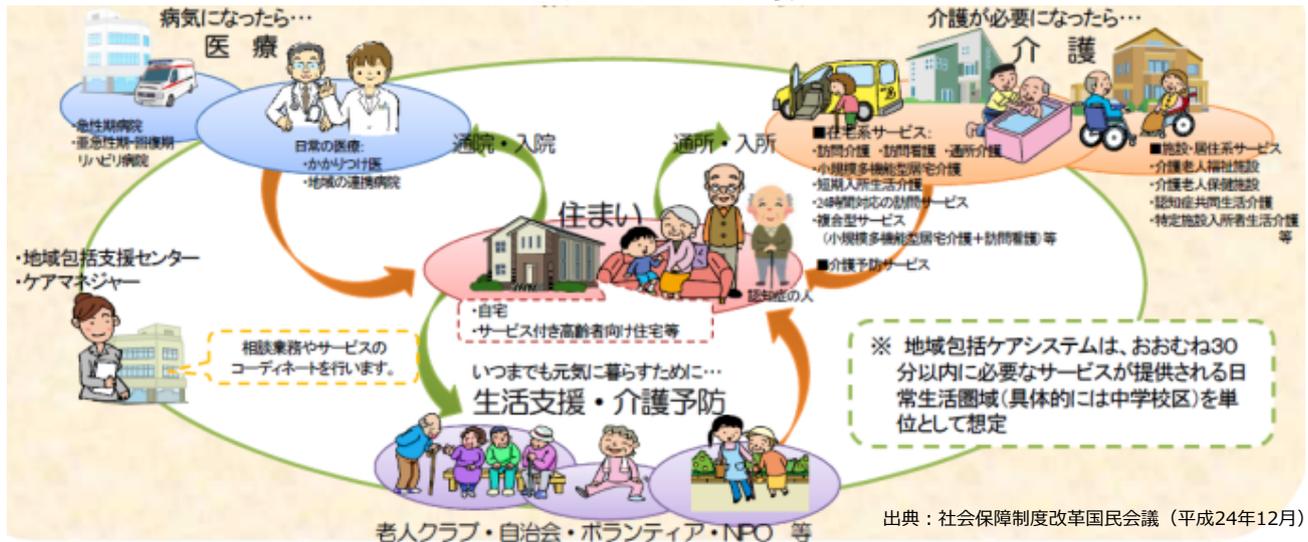
出典：UR賃貸住宅関東エリアCM「URに住まう人／二世帯家族編」近居割（UR都市機構HP）

# 地域包括ケアシステム等のイメージ

(4) ライフスタイルに応じて選択できる場の提供  
(地域包括ケアシステムなどの仕組みとの運動)(本編p.26)

- ・ 高齢者が安心して生きがいを持って暮らせる環境形成のため、総合的な健康・福祉サービスと都市づくりの緊密な連携が重要である。
- ・ 高齢者の外出機会を増やし、健康を維持・向上させるため、多くの人と交流できる場や安全で快適な歩行空間を形成していくことが重要である。

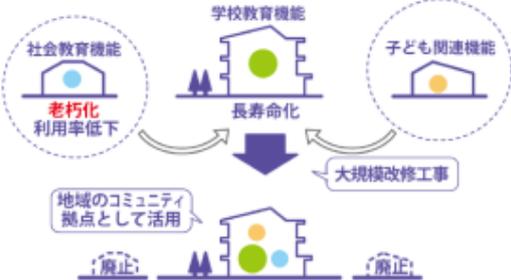
地域包括ケアシステムの姿



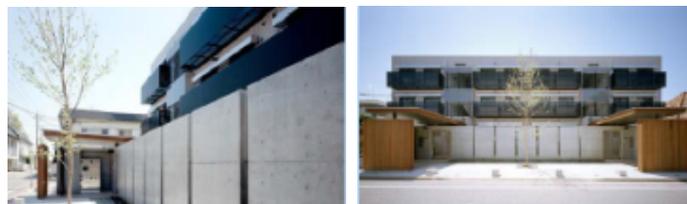
出典：社会保障制度改革国民会議（平成24年12月）

学校教育施設の複合化のイメージ

シェアプレイス聖蹟桜ヶ丘



1970年に建設された元独身寮をリノベーションした施設。専有部全108室のうち27室は、周辺・沿線社会人や学生に加え、留学生も住む、国際交流が体験できる場として、利用される予定。



出典：国土交通省HP

出典：立川市公共施設のあり方方針（平成26年12月/立川市）